



特集1

多様化する地域貢献

①ヘルス&ウェルネス ～地域住民の健やかな生活のために～

お客さまの心身ともに豊かな暮らしのために
イオングループが取り組む「ヘルス&ウェルネス」。
当社でも広い商業施設を有効に活用した
新たな取り組みを始めています。

📍健康を増進するモールウォーキング

イオングループでは、身も心も豊かに暮らせるまちづくりをめざす「ヘルス&ウェルネス」の理念を掲げており、当社では全国のモールで地域の方々の健康的な暮らしのためにさまざまなアプローチを模索しています。中でも、大規模な商業施設を有効に活用する取り組みとして「モールウォーキング」の活動を本格化しています。



🗣️イオンモールを地域の健康拠点に

地域のお客さまの健康拠点として、健康の基本「歩く」をテーマに、天候に左右されない安全なモール館内での各種ウォーキング教室や、モール周辺の心地よい環境でのまち歩きなどを地域ごとに実施しています。2016年度は約30モールで実施し、「モールウォーキング」として今後は本格的に全国のモールに拡大する予定です。グループ各社と連携した「イオン健康ポイント」の付与も2016年度は全国の自治体さまと連携し10拠点で開催し、2017年度はさらに拡大予定です。青森県では産官学連携による生活習慣予防モデルの効果検証なども実施しており、今後もお客さまの健康増進の拠点としてさまざまな取り組みを続けてまいります。

デジタル推進プロジェクトリーダー 兼
ヘルス&ウェルネス推進プロジェクトリーダー
石井 広幸



🗣️体と心の両面から健康をサポート

館内外に歩きやすいコースを設定し、一定間隔で距離やカロリー計算の指標となるサインを設置するなどハード面の環境を整えるとともに、たとえばタレントさんやスポーツ選手を招待して新しいお客さまがウォーキングに参加するきっかけにさせていただくなど、プランニングの面からもサポートしています。また、精神的な幸福感も追求するヘルス&ウェルネスの理念を実践するために、お笑いや落語を楽しんでいただいたり(P16参照)、イオンホールで照明を落としてヒーリングミュージックを聴くイベントを開催するなど、文化・芸術の振興も推進しています。

営業本部 マーケティング統括部
イベントプランニング部 部長
兼 体験創生プロジェクト
宮嶋 佐子



📍従業員を対象に「認知症介護サポーター養成講座」を実施 イオンモール猪名川(兵庫県)

2016年9月、イオンモール猪名川では、地域のキャラバン・メイトをお招きして、モール全体の従業員を対象とした「認知症介護サポーター養成講座」を実施しました。さらなる高齢化社会を迎え、身近でありながら誤解も多い認知症について、正しい知識を身につけるとともに実践的なロールプレイングを実施。受講した従業員が新たに認知症介護サポーターとなりました。



🗣️社会福祉法人 猪名川町社会福祉協議会 猪名川町地域包括支援センターのみなさま

ふだんは地域の自治会、学校などにお招きいただいて講座を行っています。認知症はそもそも病気ではなく、周囲の理解と支援があって地域で見守ることができれば安心して生活できます。そのことをみなさまに理解していただきたいと思います。

地域包括支援センター長
地域在宅課係長
山下 達夫様



近年では軽度認知症の期間が長くなる傾向にあるのですが、この期間を対象とした支援体制が整っていないのが実状です。近所の人やいつも行くお店の方に少しずつ助けてもらって、買い物や散歩が楽しめるような社会をつくっていききたいですね。

主任
ケアマネジャー
菅野 淳子様



家族が認知症になったことを隠そうとする方もいらっしゃると思いますが、これからは周囲の力も借りて、みんなで支え合わないと生きていけない時代です。認知症の方には目線を揃えて、笑顔で、大きな声で話しかけると、少しずつ心もほぐれてくると思います。

看護師
主任ケアマネジャー
山本 よしえ様

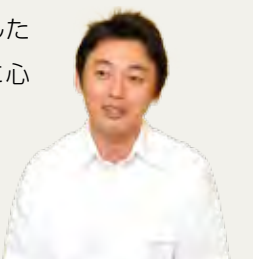


🗣️地域の課題を協力して解決

住民の高齢化は、どの地方自治体にとっても対策が急がれる課題のひとつになっています。人口3万人あまりの猪名川町でも、認知症の方が外出したまま行方不明になって捜索願が出されるような事案は頻繁に発生しており、行政や社会福祉協議会だけでなく、地域ぐるみ、町ぐるみの見守りや支え合いにご協力をいただく必要があると考

えているところです。そんな中で、町内で最も大きな事業者であるイオンモールさんがこうした取り組みをしてくださるのは本当に心強いですね。真剣に学ぼうとするみなさまの姿勢に感銘を受けました。

猪名川町 生活部福祉課
主幹 澤 宣伸様



🗣️すべての従業員が同じ目線で

このモールで働くすべての方に同じ視点でお客さまに接していただきたいとの思いで、3ヶ月ほど前から計画を立てて専門店だけでなく清掃・警備・誘導などを担当する方にも受講していただきました。仕事で活かしていただきたいのはもちろんですが、誰にとっても今後ますます身近な問題になりますから、「自分のために勉強しましょう」と呼びかけました。最初はみなさま少し

戸惑っていましたが、終わったあとは「受講してよかった」と笑顔でした。これからも継続して認知症サポーターを増やしていくことが地域への恩返しにつながると考えています。

イオンモール猪名川
ゼネラルマネージャー
長岡 洋子





特集1

多様化する地域貢献

②地域に欠かせない文化振興の拠点へ

ショッピングや食事を楽しむだけでなく、人々が集い、伝統や文化を育む場として。

従来の商業施設の枠を超えて地域のニーズにお応えしてまいります。

モール内に初めての市立図書館を新設 イオンモールつがる柏(青森県)

2016年7月、イオンモールつがる柏に「つがる市立図書館」がオープンしました。つがる市にとって初めての市立図書館であり、本館として公立図書館がイオンモール館内に開館するのは全国で初めての事例です。洗練されたデザインも大きな話題となり、オープン初日だけで約4,600名が来館され、2017年2月15日には来館者20万人を達成しました。



▲入口の脇にカフェを併設。休憩時のご利用はもちろん、ふたの付いたお飲み物は館内の一部をのぞき、持ち込むことが可能です。



▲地元の農家の方が配送に使う木製のリンゴ箱を展示ボックスとして活用。温かみのある空間に溶け込んでいます。



▲貴重な郷土資料や、つがる市の基幹産業である農業に関する関連資料も豊富に取り揃えています。

つがる市立図書館

市民が待ち望んだ公立図書館

青森県つがる市は2005年に1町4村が合併して誕生しましたが、合併前の各町村も含めて、これが一みなさまが待ちに待った初めての公立図書館です。想像以上に洗練された図書館になりました。柱まわりにリンゴ箱を配置するなど、さりげなく郷土の特色を出したところも好評をいただいています。地元の中学や高校には、生徒さんがおすすめする本に推薦文を手書きしたPOPを作っていただきました。ここで読書の習慣に親しみ、学業に励んでいただけたらと思います。イオンモールは暮らしを支える商業施設としてあらゆる世代の市民が集う場ですから、文化の発信拠点としての機能をますます発揮していただくことを期待しています。

つがる市教育委員会
社会教育文化課長
対馬 誠貴様



気軽さと本来の機能を両立

商業施設の中に図書館の本館を作るというアイデアに新しい可能性を感じました。つがる市の人口は34,000人足らずですが、開館して約1ヶ月ほどでカードの利用登録が5,000人を超えました。ややもすると重苦しいイメージがあった従来の図書館とは一線を画した、気軽に入りやすい設計や雰囲気が広く受け入れられたのだと思います。併設のカフェから飲み物を持ち込めるといった図書館の新しいスタイルに注目が集まっていますが、その一方で、情報でみなさまの役に立つという図書館本来の機能も大切にしたいと考え、日本十進分類法に基づいた配架を行うとともに、市の基幹産業である農業をはじめ職業支援に関する資料、郷土資料なども豊富に揃えています。特に近年では家庭と職場/学校の間地点となるサードプレイスの役割も図書館に求められており、当館もみなさまの憩いの場として利用されることを願っています。

つがる市立図書館 指定管理者
株式会社図書館流通センター(TRC)
業務責任者
山下 幸子様



お客さまが交流する場として

構想が具体化したのはオープンの約1年前です。当初は具体的なイメージがわからず、うまくいか半信半疑でしたが、つがる市と関係者のみなさまと綿密な打ち合わせを繰り返し、徐々にこれはいいものができるという確信になりました。図書館の隣につがる市の出張所も併設していただき、市民のみなさまの利便性に配慮しています。ショッピングモールに書店と図書館が共存できるかという懸念もありましたが、むしろ協力して企画をするなど相乗効果を生み出す道を模索すべきではないでしょうか。これまでつがる市とはさまざまな交流がありましたが、今後は地域の学校や団体の活動をここで披露していただくなど、より市民のみなさまと深く交流して地域になくてはならないモールへ発展させていきたいと考えています。

イオンモールつがる柏
ゼネラルマネージャー
加瀬 浩



●関西でも2モールの館内に公立図書館が設けられています。

伊丹市立図書館 西分室 イオンモール伊丹昆陽(兵庫県)



2011年開室。蔵書の約半数が児童書です。本館や分館で貸し出した本の返却、予約した本の受け取りなどの立ち寄りスポットとしても便利にご利用いただいています。

茨木市立穂積図書館 イオンモール茨木(大阪府)



市内で5番目の図書館として2001年開館。2フロアにまたがって約9万冊の図書や視聴覚資料を所蔵。ショッピングのついでに気軽に利用できる」と好評をいただいています。



特集1

多様化する地域貢献

③地域と心ひとつに、世界に誇るイベントを

多くのお客さまにお集まりいただき、
情報発信の拠点として機能するイオンモール。
知らなかった世界にふれるきっかけや新しい体験を通して、
地域のみなさまの日々を豊かにします。

📍「イオンモール落語」の実施

2013年から開催している「イオンモール落語」は、桂福團治師匠一門が全国のモールを巡回してお客さまに古典落語・手話落語をお楽しみいただくイベントで、各地でたいへんご好評をいただいています。今年度はイオンモール沖縄ライカムで開催した際にイギリス出身の女性落語家・ダイアン吉日さんをゲストに迎えて初めて英語の落語を実施しました。また、出張公演として6校の小学校を訪ねて子どもたちに落語文化や手話にふれていただく機会をご提供しました。2017年度は出張公演を約10校に拡大予定です。



🗣️ 誰もが手話に親しめる社会をめざして

声帯ポリープで一時的に声が出なくなった経験が手話を覚えるきっかけになりました。友達になった聴力障がい者にも落語をわかってほしい、笑ってほしいと思って手話落語をはじめてみたところ、おかげさまで少しずつ評判になって応援をいただけるようになりました。聞こえない方に楽しんでいただくとともに、健常者の方にも手話を広く浸透させたいと思っていますので、全国各地のイオンモールにお招きいただけるの

は本当にありがたいことです。みなさまが興味を持ってくださって、「見る言葉」として少しずつでも手話を使える世の中になったらいいと思います。2020年の東京オリンピックで、「パラリン寄席」として世界に手話落語の文化を発信するのが私の夢なんです。

4代目 桂 福團治様



📍「伝統的工芸品展」を開催

主に手作りで製造され、日常生活で使われてきた工芸品の中心から経済産業大臣が指定する「伝統的工芸品」。その魅力を身近に感じていただくために4モールで「伝統的工芸品展」を開催しました。展示販売や映像紹介のほか、友禅千代紙を用

いた工作やお茶の淹れ方のワークショップなどを体験していただきました。



📍ギネス世界記録®への挑戦 イオンモール寝屋川(大阪府)

38年間のご愛顧をいただき、2016年8月31日に一旦営業を終了したイオンモール寝屋川では、7月28日から4日間にわたって地域のみなさまとともに「星形に折った折り紙の最大の展示」のギネス世界記録®に挑戦し、成功を収めました。



🗣️ 地域のみなさまと味わった達成感

私は寝屋川の出身で、地域には人一倍の愛着があります。小さい頃から遊びに来ていたイオンモール寝屋川が一時閉店するにあたり、お世話になってきた地域のみなさまと何か思い出に残るようなことができないかと考えてたどりついたのが、折り紙の展示による世界記録への挑戦でした。寝屋川市役所に何度も足を運んだ結果、市と地元の団体のみなさまで「寝屋川市SAKURA巨大アート実行委員会」を立ち上げ、市の木である桜のPRも兼ねてギネス記録に挑戦できることになりました。
ところがいざ始めてみると、折り紙を正確な星型に折るのは予想以上に難しく、最初に用意した折り紙約1万枚の8割以上が審査ではねられてしまいました。現場もかなり混乱し、

一時は記録達成はとても無理だと青ざめましたね。それでも約3,000名のお客さまや地域のみなさま、そしてボランティアスタッフの方々にご協力をいただいて、なんとか最終日に1万9,833枚の折り紙で作った巨大アートが完成し、世界記録を達成することができました。これが話題になったことでイオンモール寝屋川の一時閉店も広く周知され、多くのお客さまが思い出を懐かしんで来店されました。個人ではできない挑戦をさせてもらった会社、リスクを負って企画を通していただいた上司には、今も感謝の気持ちでいっぱいです。

イオンモール寝屋川
営業担当
岩谷 進伍



🗣️ 38年間の感謝を込めて



各方面と綿密な打ち合わせをして一時閉店の準備を進めてきました。近隣に暮らす専門店の従業員や当社のスタッフに閉店を伝えるのは心苦しい面もありましたが、全員が最後までモールを盛り上げてやろうと一致団結してくれました。お客さまからはたくさんの思い出やエピソードが寄せられ、このモールがどれほど地域のみなさまか

ら愛されてきたかを実感しましたね。ほとんどの専門店が契約を延長して最終日まで営業を続けてくださり、館内は最後の瞬間までお客さまの活気に満ちていました。

イオンモール寝屋川
ゼネラルマネージャー
鷹城 直人

